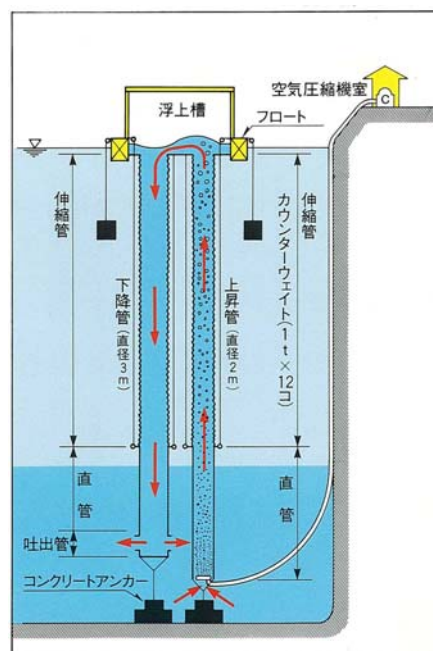


かわのことば【環境編】

■ 深層曝気施設

ダム湖の水質改善の為に深層に空気を送る施設です。

ダム貯水池の深層では、有機物の分解にもなって溶存酸素が消費つくされて還元状態になり、硫化水素の発生、底泥からの栄養塩の溶出を生じます。これらを抑制する目的で深層水を上昇させ、酸素の含まれた水を深層に送ります。



■ 点源負荷

汚濁物質の排水ポイントが特定できる工場、下水・し尿処理場、家庭、畜産事業場などが発生源になることを言います。

■ 面源負荷

汚濁物質の排水ポイントが特定しにくい大気中の汚れを含んだ降雨、山林、農地、市街地などが発生源になることを言います。



■ モニタリング

定期的・継続的な監視・点検のこと。

■ 汽水域

河口で見られる海水と淡水の混じりあっている水域を言います。

■ 干潟

満潮時には冠水し、干潟時には露出する海岸・河口の砂泥地を言います。

かわのことば【環境編】

■ 砂礫河原

河川本来ある自然形状の1つで、増水時には水没するが、通常は露出している砂や小石が多く広がった場所です。砂礫河原特有の環境を好む生物には重要な場です。



■ 外来種・在来種

①外来種・在来種とは？

人間の様々な活動に伴って、本来生息している分布範囲を越えて持ち込まれた生き物を「外来種」と呼びます。これに対して、海や陸地、山脈などによって分布を制限され、長い年月をかけて地域の環境に適応し、進化してきた生物を「在来種」と呼びます。

②外来種が侵入すると

長い進化の歴史をたどってきた在来種たちの世界へ外来種が突然侵入すると、在来種との間にさまざまな新たな関係が作りだされ、外来種に対して身を守るすべを持たない在来種が危機に瀕します。

現在すでに、外来種によって様々な問題が発生しています。生物の多様性保全のために、河川での外来種対策が必要とされているのです。

